

鳥海山の火山活動解説資料（平成27年2月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・ 噴気など表面現象の状況（図1）
上郷に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。
- ・ 地震や微動の発生状況（図2）
火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。
- ・ 地殻変動の状況（図3、図5）
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 鳥海山 山頂周辺の状況（2月17日）
上郷（山頂の北西約10km）に設置してある遠望カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成27年3月分）は平成27年4月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）



図2 鳥海山 火山性地震の日別回数（2010年9月～2015年2月）

- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測です。
- ・ 観測開始以来、火山性地震は観測されていません。

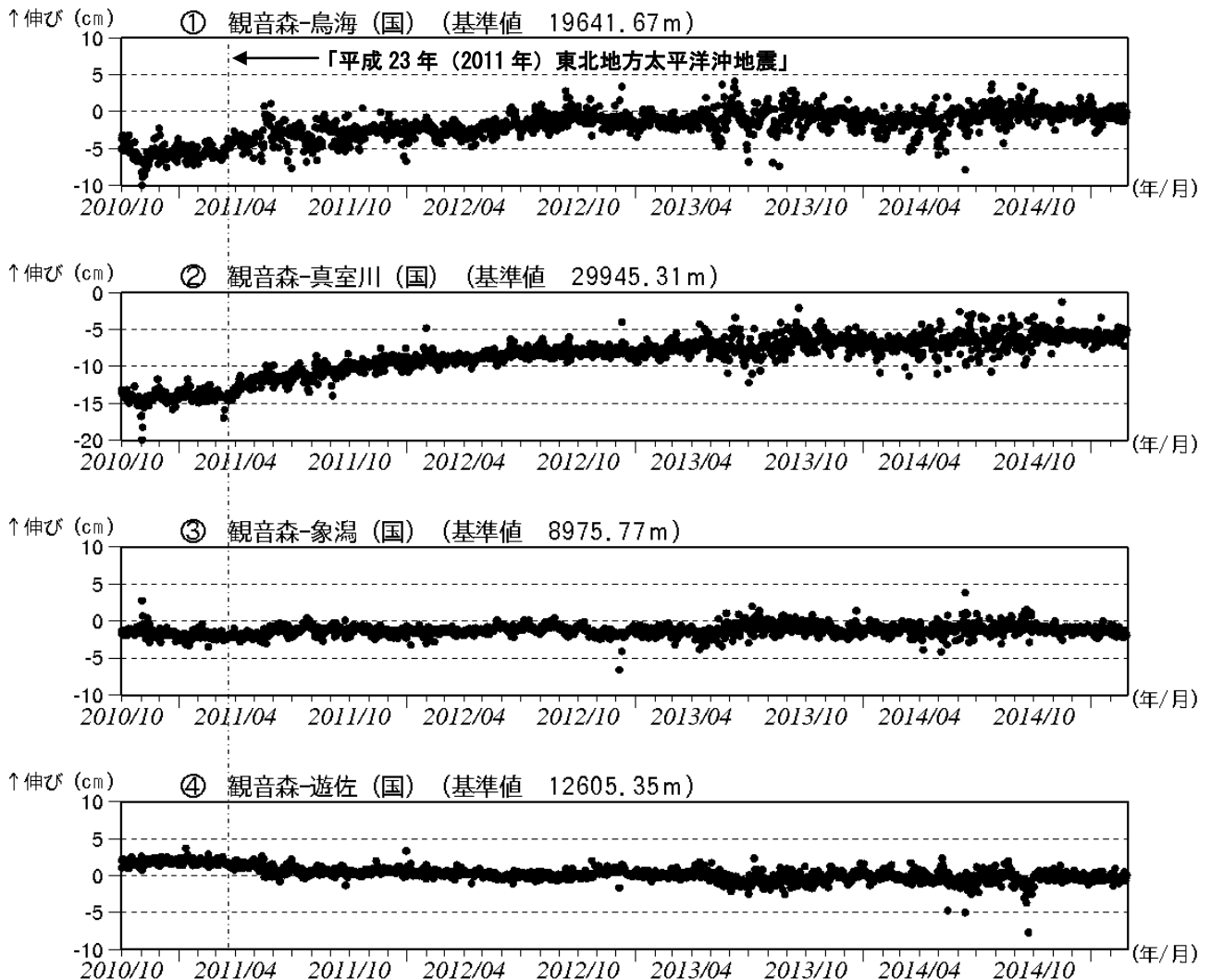


図3 鳥海山 GNSS¹⁾ 基線長変化図（2010年10月～2015年2月）

- GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
 - 2011年3月11日以降の変動は、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ①～④は図5のGNSS基線①～④に対応しています。
 - 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- (国) : 国土地理院

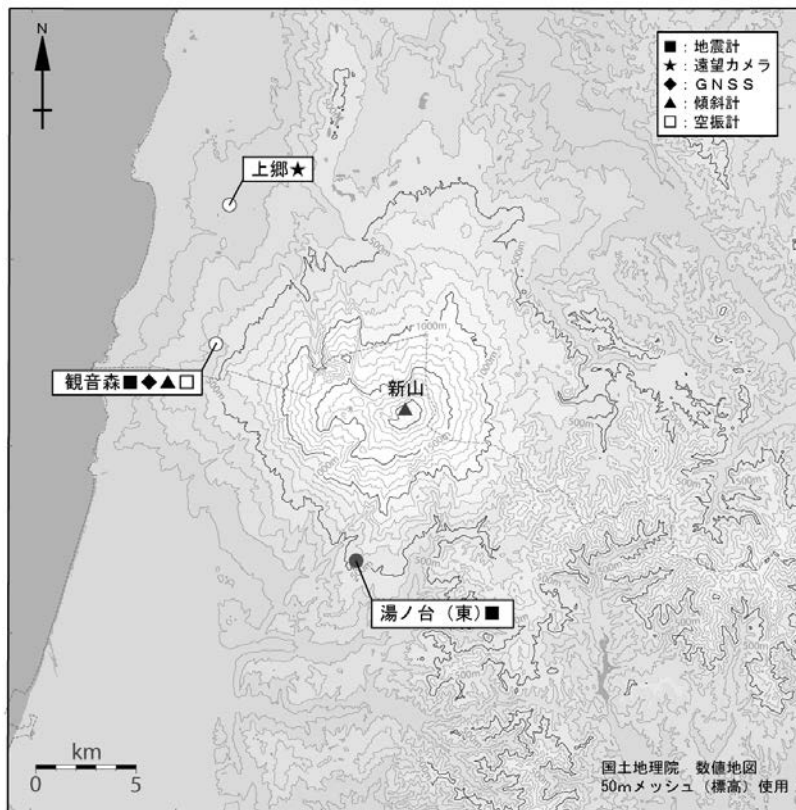


図4 鳥海山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（東）：東北大学

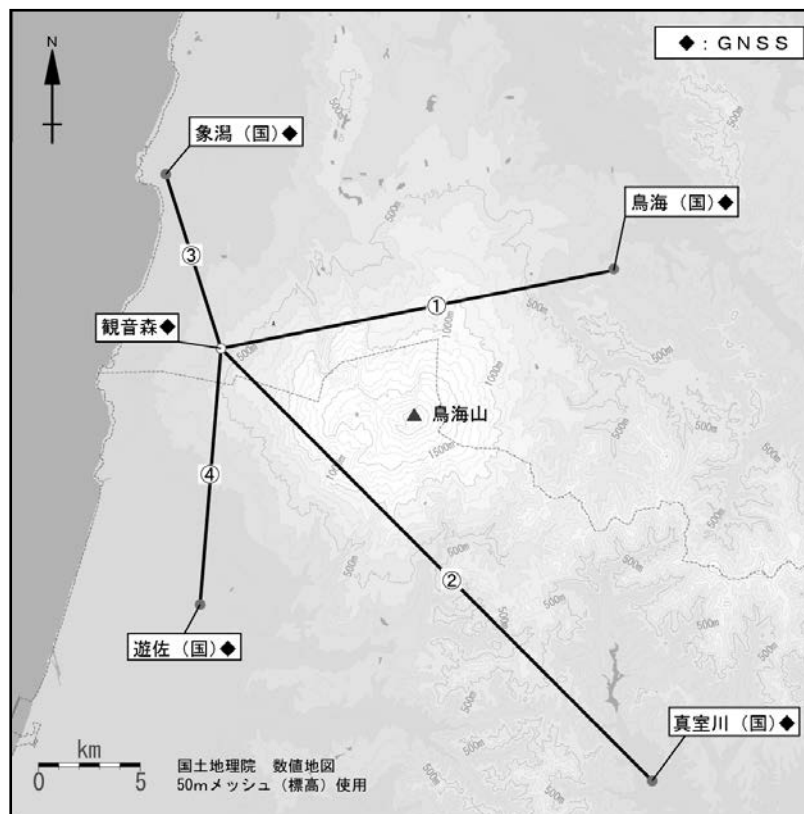


図5 鳥海山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院